

研究実施のお知らせ

2021年3月25日 ver.1.1

研究課題名

造血幹細胞移植後せん妄の生命予後への影響と罹患リスク因子についての後方視的研究

研究の対象となる方

2010年1月から2019年12月の間に島根大学医学部附属病院で造血幹細胞移植を受けられた方

研究の目的・意義

当院で造血幹細胞移植を受けられた方を対象に、移植後にせん妄があったのかを調査し、せん妄の生命予後への影響とせん妄になりやすい要素を見つけ出します。生命予後への影響やなりやすい要素が分かることで、将来移植を受けられる方々が、より安全・安心な移植医療を受けて頂くことができるようになります。

研究の方法

移植を受けられた方のカルテから次のデータを収集します。

年齢、性別、BMI、がんの種類、治療内容と経過（前処置、移植 source、自家/同種、TBI、薬の種類と量、GVHDの有無など）、血液検査データ（血球数、栄養状態、肝機能、腎機能、電解質など）、せん妄の有無、移植後の転帰。

データ収集後、せん妄になった方とならなかった方のデータを比べることで、せん妄の生命予後への影響やせん妄になりやすい要素を見つけ出します。

収集したデータは個人が特定できない形で、インターネットから独立したパソコンで厳重に管理し、パスワードを設定することで、使用可能な研究者を制限します。

研究の期間

2021年5月7日～2023年12月

研究組織

この研究は島根大学医学部精神医学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2022年3月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部精神医学講座／附属病院精神科神経科 大拙 孝治

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2262 FAX 0853-20-2260